

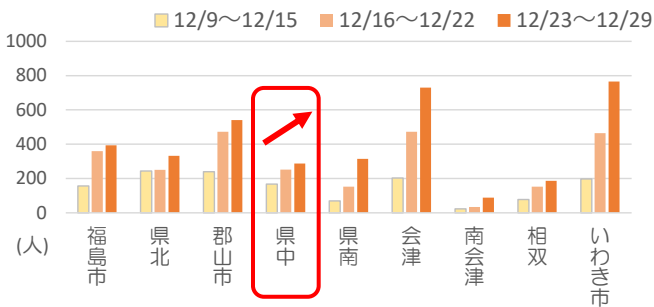
インフルエンザ、伝染性紅斑の 流行が続いています！

通称「りんご病」

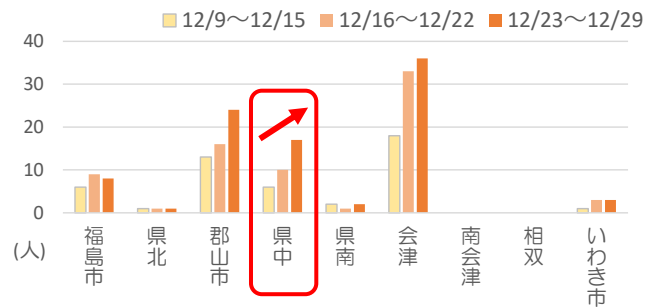


出典：感染症発生動向調査（福島県感染症情報センター）

インフルエンザ発生状況（定点報告）



伝染性紅斑発生状況（定点報告）



原因ウイルス：インフルエンザウイルス

感染経路：咳やくしゃみによる**飛沫感染**、

ウイルスが付着した手を介した**接触感染**

症状：1～3日間の潜伏期間の後、**38度以上の発熱**、頭痛、
関節痛、筋肉痛、鼻汁、喉の痛み、咳などが出現。

**発症後2～5日間は感染性があるため、学校への
出席が停止になる。**

治療：抗インフルエンザウイルス薬(発症から**48時間以内**)
対症療法

消毒薬：アルコール製剤、次亜塩素酸ナトリウム

原因ウイルス：ヒトパルボウイルスB19

感染経路：咳やくしゃみによる**飛沫感染**、

ウイルスが付着した手を介した**接触感染**

症状：小児を中心に流行。約**10日間の潜伏期間**の後、
両ほほに紅い発疹が出現し、**体や手足に網目状の
発疹**が現れ、1週間程度で消失する。発疹が出現
する1週間前に風邪症状がみられることが多い。
発疹が出現する頃には感染性はほぼ消失するため
学校への出席停止は必要ない。

治療：対症療法

消毒薬：アルコール製剤は**無効**、次亜塩素酸ナトリウム

基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒



場面に応じたマスクの着用
や咳エチケット



定期的な換気

体調不良時は
無理せず休む

「県中保健福祉事務所感染症レター」へのご意見や感想、質問等ありましたら下記までご連絡ください。

FAX：0248-75-7825 E-Mail：kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp

バックナンバーは「県中保健福祉事務所」のホームページに掲載しています！